



# オリエンテーリング

会場地 : 加西市

## 競技紹介

オリエンテーリング(以下OL)は、誰でも気軽に参加し、楽しめるスポーツとして北欧で生まれました。日本においては、1966年に東京の「高尾山」(599m)で「徒歩ラリー大会」が開催されたのがはじまりです。

OLは、自然の山野で地図とコンパス(方位磁石)を使用して、地図上に示されたいくつかのコントロール(チェックポイント)をまわってゴールするスポーツで、いろいろな競技形態があり、楽しみ方があります。競技として行うOLは、基礎体力のほかに、地図を読む力、そして、どのルートを進むかを判断する力が問われます。

自然とのふれあいの中で、さわやかな汗を流し、多くの感動を味わうことができるのもOLの魅力です。

## 競技方法



### 【個人・団体の部】

行事では、スコアーオリエンテーリングを実施します。地図に示されたコントロールに、到着の難しさや距離等によって点数があり、時間内に多くの点数を獲得した人(チーム)が勝ちとなります。参加者の経験や年齢等に応じてクラスを分けて競います。

各コントロールには、フラッグ等が置かれ、そばにあるパンチ器具で参加者の持つコントロールカードの指定欄に到着したことを記していきます。

### 【トレイルの部】

トレイル0は、オリエンテーリングの種目の中で、唯一移動タイムを競わない競技です。身体障害者用に開発されたこの種目は、車椅子でも実施可能なように、トレイル(道)に沿って移動可能なコースが設定されています。

コントロール近くの道上からいくつかのコントロールを見ることが出来ます。そのうち1つが地図上で示された位置に正しく置かれたコントロールです。競技者の課題は、その正しいコントロールを選択することです。

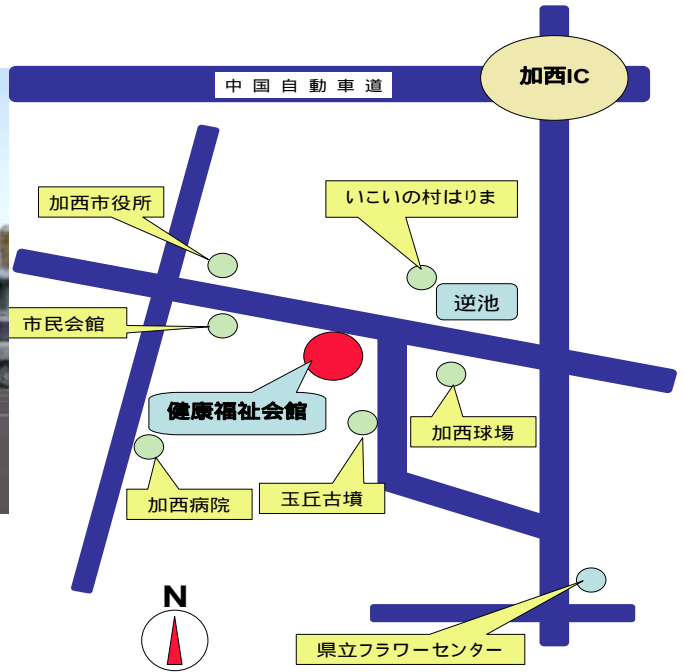
# 競技場の概要

【会場】 加西市健康福祉会館周辺

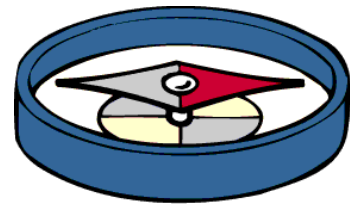
播磨国風土記による根日女の恋伝説で知られる玉丘古墳をはじめ、いこいの村はりまなど、美しい自然を舞台に実施します。



加西市健康福祉会館外観



加西市では、毎年オリエンテーリング大会を開催し、自然の中で大勢の方々に楽しんでもらっています。



左の写真は、加西市オリエンテーリング大会スタート風景